

# 京丹後市の特色や魅力を活かした取組の推進

## 補正 外国人観光客を迎える準備を進めます

### 新規 外国人観光客等受入態勢整備支援事業補助金

【総務費】200万円  
(商工観光部 商工振興課)

外国人を含む観光客が訪問しやすく、滞在しやすい環境を作るため、市内宿泊施設等を対象にクレジットカード決済システムや、Wi-Fiアクセスポイントの整備、施設内案内看板やホームページ等の多言語化など、態勢整備にかかる経費の一部を支援します。

○補助率：1/2以内(限度額20万円)



外国語による案内表示

## かぶと山への誘客を推進します

### 拡充 かぶと山園地の整備促進

【商工費】1億3,010万円  
(商工観光部 商工振興課)

かぶと山山頂からの素晴らしい眺めをPRし、観光客誘致を推進するため、「海の京都」京丹後市マスタープランに基づく市道の拡幅、中腹に駐車場及びトイレを整備するとともに、山頂展望台への遊歩道の整備を進めます。

- 整備期間：平成26年度～平成28年度
- 整備内容：駐車場・トイレ・遊歩道整備



新たに設置されたかぶと山展望台

## 補正 魅力ある観光地づくりを推進します

### 新規 無電柱化事業予備設計業務

【総務費】770万円  
(商工観光部 商工振興課)

「海の京都」の戦略拠点である浜詰地区において、無電柱化事業を進めます。平成26年度に完成した市道牛場本線に続き、市道新開地通線の無電柱化実施に向けた予備設計を行い、景観の向上と夕日広場(仮称)への導線を整備するため、最適な構造、線形、施工方法の選定を行います。



舗装された市道牛場本線(網野町浜詰)

## 補正 地域に密着した観光情報を提供します

### 新規 おもてなしエイドステーション(仮称)の設置

【総務費】108万円  
(商工観光部 観光振興課)

自動車等で本市を訪れる旅行者に対して、地域に密着した観光情報を提供するため、観光情報の提供に協力いただける市内コンビニエンスストア等を「おもてなしエイドステーション(仮称)」に認定し、着地型観光マップを配置するなど、おもてなし態勢を整えます。



**着地型観光**▶旅行先の地域が主体となって地域の良さをアピールし、旅行プランなどを組み立て、集客につなげようとする観光のスタイル

## 年中にぎわう日本一の浜辺を目指します

### 新規 ビーチスポーツフェスティバル(仮称)開催

【商工費】1,100万円  
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

年中にぎわう日本一の浜辺づくりを推進するため、ビーチバレーやビーチフラッグス等のビーチスポーツイベントの開催を支援することにより、交流人口の増加とともに地域の活性化を図ります。

○ビーチスポーツフェスティバル(仮称)

開催予定日：平成27年7月18日(土)、19日(日)  
開催場所：網野町浜詰 夕日ヶ浦海岸



砂浜でのビーチバレー競技

## 松本重太郎翁の偉業をPRする市民活動を支援

### 新規 松本重太郎100年プロジェクトの支援

【商工費】173万円  
(市民部 丹後市民局)

京丹後市丹後町間人出身で明治期の日本経済の立役者である松本重太郎翁のゆかりの地として、地元有志団体が行う生誕碑の設置などを支援し、観光誘客等を促進します。



故 松本重太郎氏

## 「夕日広場」(仮称)の整備を進めます

### 新規 「夕日広場」(仮称)の整備

【商工費】1,000万円  
(商工観光部 観光振興課)

網野町浜詰地区において、夕日をシンボルにした広場の整備を進めます。平成26年度の検討内容を活かした基本・実施設計を行い、平成28年度中の完成を目指します。



「夕日広場」(仮称)のイメージ図

## 全国の自治体とともに白砂海岸の保全と活用を推進します

### 新規 日本一美しく長い白砂海岸のまち協議会

【商工費】35万円  
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

美しく長い白砂海岸をもつ全国の自治体とともに、ビーチの活用や漂着ゴミ対策などについて情報を共有し、施策へ活かすことを目的とした協議会を夏頃に設立します。



北近畿唯一の白砂海岸(小天橋～浜詰海岸)

## 下水汚泥等の資源化に取り組めます

### 新規 下水汚泥資源化に向けた検証事業

【衛生費】234万円  
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

現在は焼却処理をしている下水汚泥等について、地域バイオマス資源の一層の有効活用を進めることを目的に、発酵乾燥による資源化のための検証事業を行います。



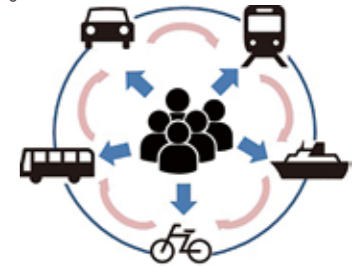
## 観光客が周遊できるシステムづくりを目指します

### 新規 観光地域ブランド確立支援事業負担金

【商工費】889万円  
(商工観光部 観光振興課)

「海の京都観光圏」では、国内外から選考される魅力ある観光地域づくりを促進するため、国(観光庁)の支援制度である観光地域ブランド確立支援事業を活用し、滞在プログラムの企画・作成や滞在コンテンツの魅力向上、マーケティング調査などに取り組みます。

本市では、「海の京都博」期間中の土日祝日に、戦略拠点内(夕日ヶ浦温泉・久美浜エリア)を観光客が周遊できるように、バスと船による二次交通の実証実験を行います。



**海の京都観光圏**▶京都府北部7市町(京丹後市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、伊根町、与謝野町)を区域とし、観光客が滞在・周遊できる魅力ある観光地域づくりを進めるため、実施計画を国へ申請し、平成26年7月に観光圏として認定を受けました。

## 「海の京都博」を開催します

### 新規 「海の京都博」への分担金

【商工費】500万円  
(商工観光部 観光振興課)

「海の京都」の認知拡大と誘客促進を目的に、「海の京都」を構成する7市町が一体となりイベントを実施します。網野町浜詰の夕日ヶ浦海岸で開催されるメインイベントから約3か月間、各市町でコンセプトツアーやコアイベントが実施されるほか、スタンプラリー等周遊イベントが行われます。

○予定期間：平成27年7月中旬～10月末



コンセプトツアー(イメージ)

**「海の京都」**▶京都府が推進する観光まちづくり構想。内陸の観光地とは異なる魅力を持った府北部において地域主導で観光拠点を整備し、「海の京都」というキャッチフレーズのもと、集中的に魅力を発信していくもの。